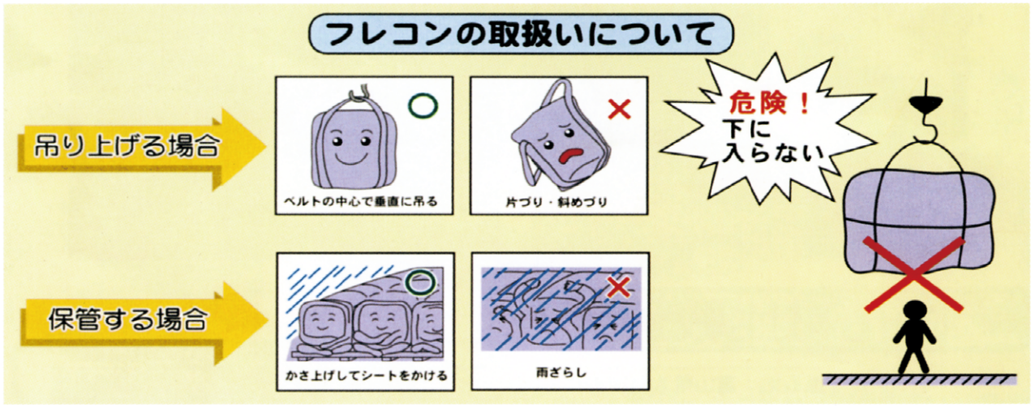
主 な 特 徴 [テクノソイル]

環境に配慮	環境に配慮した材料を使用しているため、環境面で安全に施行可能。また、周辺環境に影響のない良質土として再利用が可能。
リサイクルが可能	堆積土・汚泥等は改良する事により、土壌の再利用が可能な事から社会的・経済的に効果大。[イーキューブシステム利用]
材料費	リサイクル材の活用により比較的安価。
作業性・安全性	固化熱の発生が少なく、安全な作業確保。（消防の届出不要）
ph 値	対象土と混合した場合、比較的早い段階で ph 値が低下する。
施工性	1 日の処理量を現場施工で対応可能。（バックホー等の汎用重機で可能）
再掘削が可能	セメント系の様な固化材でないため、容易に掘削が可能。再利用可能。

取 扱 の 注 意



※（◎ 急な吊上げ、吊下ろしはフレコンを破く恐れがあります。
◎ 長時間、直射日光にさらされると、フレコンが劣化します。）

〈取り扱い上のお願い〉

保管上のお願い

本製品を保管する場合は、下記の点についてご注意下さい。
・水が進入しない様にかさ上げをして保管して下さい。
・直接地面には置かない様にご注意下さい。
・降雨の恐れや湿度が高い場合などにはビニールシートなどで覆い、風などでシートが飛ばない様にロープ等で固定して下さい。

安全衛生上のお願い

本製品は水と接触しますと化学反応を起こし、強いアルカリ性になります。そのため、皮膚や目、呼吸器等を刺激したり粘膜に炎症を起こす場合がございます。特に目に入った場合などは、きわめて危険ですので、ご使用の際には以下の事にご注意下さい。

1. 直接、皮膚に触れたり、目に入れたり、吸い込んだりは絶対にしない様にして下さい。
2. 必ず、保護手袋、防塵メガネ、防塵マスクを着用して下さい。
3. 発塵に注意し、十分に換気して下さい。
4. 万一目に入った場合は、綺麗な水で十分に洗浄し、直ちに専門医の診察を受けて下さい。
5. 万一皮膚についた場合は、綺麗な水で十分に洗い流して下さい。
6. 子供に触れさせないで下さい。

環境への影響

1. 本製品によって改良された土は一般に ph-9 ～ 11 のアルカリ性を示しますが、大気中の CO_2 や粘土鉱物の作用によって、徐々にアルカリ性から中性域に進んでいきます。

お問い合わせ・ご注文

株式会社 ETS ジャパン

〒 935-0051 富山県氷見市十二町 247-5
TEL 0766-74-5445 FAX 0766-30-5445
http://ets-japan.com

製造プラント 富山プラント 富山県氷見市十二町 247-5
TEL 0766-74-5445 FAX 0766-30-5445

H31.4

Eco Techno Soil
ETS-JAPAN
株式会社 ETS ジャパン

未来を考える環境対策型土壌改良固化材

エコテクノソイル

循環型社会を構築し、リサイクル材料を活用します。

富山県認定
リサイクル商品

[テクノソイル CM]
[エコソイル α プラス]
[エコソイル α プラス B-type]

エコマーク認定番号
19 131 004

[テクノソイル Ne]

株式会社 ETS ジャパン
http://ets-japan.com

私たちの仕事は
循環型社会の創造です

エコテクノソイル（固化材）

エコテクノソイル固化材シリーズ

土砂は、建設工事、特に埋立、盛土、造成等の工事に不可欠な建設資材であります。

＊環境負荷の低減と建設資材への還元

固化材の原材料の一部にリサイクル資源（PS 灰）の活用を可能とし、循環型社会に適応した固化材です。

テクノソイル・エコソイル固化材は、建設現場から発生する泥土、軟弱土用等の改良（安定処理）を従来工法（自走式改良機、バックホウ等）で可能とし、必要な建設資材に生まれかえることが出来ます。

1. テクノソイルは、重金属類（六価クロム溶出等）の溶出量を、土壌環境基準以下に抑えられた自然環境に優しい固化材です。また、従来の石灰系固化材のような高い固化熱を発生させませんので、安全な作業環境を創造します。

2. エコソイルアルファは、セメントを複合させておりますが、一般のセメント系固化材より、六価クロムの溶出量を低く抑えております。（六価クロム対応型相当品）

＊テクノソイル、エコソイルの特徴

PS 灰の活用を可能とした事で固化材に微細な多孔質構造を持たせたため、いろいろな効果が期待できます。

・吸水効果　　・脱臭効果　　・その他

商 品 構 成

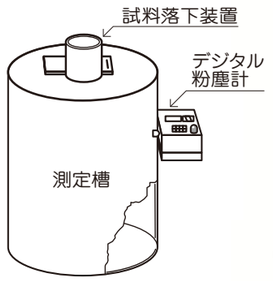
テクノソイル・エコソイル固化材は、有効に使用して頂くために、
事前に配合試験等で確認をお願いします。　※ 荷姿（1t フレコン、バラ）

- ◆**テクノソイル CM**（石灰系：非セメント系）
  【一般品】 道路工事、宅地造成、浚渫土、建設汚泥等
- ◆**テクノソイル CS シリーズ**
  【特注品】 高含水土、有機質土等
- ◆**テクノソイル Ne**（中性化固化材：非セメント系）
- ◆**エコソイル α**（セメント含有：六価クロム対応型相当品）
- ◆**エコソイル αプラス**（セメント含有：六価クロム未検出型）
- ◆**各種（防塵タイプ）B-type有**（社内基準：50CPM以下）
  ※エコソイルxをのぞく
- ◆**エコソイル x**（高分子含有：PRTR法対象外）

Eco Techno Soil
ETS-JAPAN
株式会社 ETS ジャパン

適応用途別

土質安定材の発塵試験方法



F033T（日本道路協会）

粉塵量と定性的評価

- 粉塵で前方が透視困難（1000CPM～）
- ほこり気が激しく
  その場に居られなくなる状態（500CPM～）
- ほこり気は感じられるが、
  軽微な土ぼこり程度（～200CPM）
- 交通量の多い道路状況（～50CPM）
- 室内の状況（～10CPM）

施行写真例

テクノソイル CM

スタビライザー工法

リテラ工法

イーキューブシステム